



「JICA食と農の協働プラットフォーム」 (JiPFA)

アフリカフード・バリューチェーン (FVC)

第1回分科会

(GFVC推進官民協議会共催)

設置趣旨及び2019年度活動計画 (案)

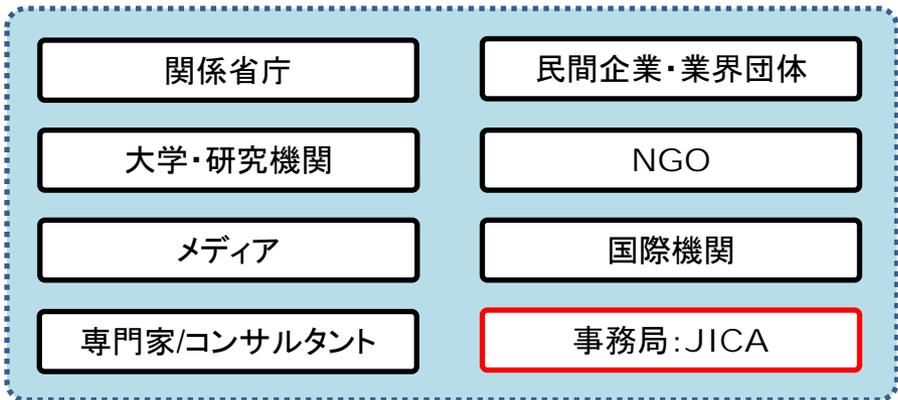
JICA農村開発部

第5チーム 畔上 智洋

1. JICA 食と農の協働プラットフォーム (JiPFA) とは？

JICA 食と農の協働プラットフォーム

プラットフォームレベル



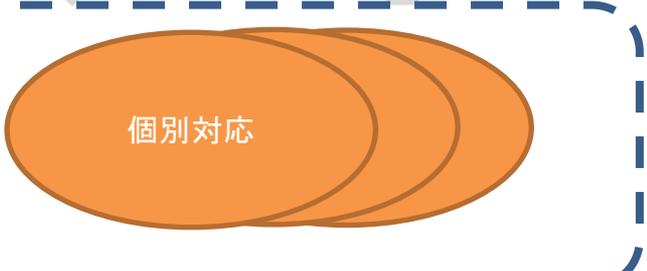
JICAが重点的に取り組んでいる／参加団体様のご要望が高い対象地域・国、分野・課題単位の分科会を設置

分科会レベル



協働事業組成 JICA事業への参画
報告 経験共有

個別事業レベル



JiPFA設立の目的

- 「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けて、国内の産官学関係者が途上国及び日本の課題解決のための活動を促進するために、ゆるやかなネットワーク(プラットフォーム)を設置するもの。
- 情報や経験の共有等を通じて、同ネットワークの中から、様々な『共同活動』を産み出すことを目標とする。

<主な活動内容>

- ①分科会(情報共有・意見交換)開催(適宜)
(JICA TV会議システムを活用し、地方からの参加可)
- ②各種勉強会、イベント等の開催
- ③共同活動(共同研究・技術開発、民間企業等の海外展開、途上国及び日本の人材育成等)の企画・支援、など

2. JIPFAアフリカFVC分科会とは？

● 目的：

- アフリカ地域のFVC課題と同課題解決に貢献可能な日本の企業、大学等が有する技術・ノウハウとのマッチング促進
- 同課題に取り組む人材育成(途上国及び日本)の促進

⇒FVC強化を通じたSDGs貢献

⇒TICADイニシアチブ(CARD/SHEP/IFNA)との連携

⇒日本企業等のアフリカ地域での事業展開の促進

案件形成を促進

+

関係者ネットワーク作り

● 主な活動内容：

- アフリカ地域に関心を有する産官学関係者(企業、大学、JICA等)間で、同地域のFVC課題等に関する情報共有、意見交換
- 関係者間の協働に向けた具体的な取組みの検討

● 実施体制：

- 事務局：JICA農村開発部第5チーム(担当：畔上)
- GFVC推進官民協議会アフリカ部会と協力・連携

3. TICAD7 に向けた農業・食料・栄養分野のJICAによる貢献策案



上位
目標

食料安全保障と栄養改善
～アフリカの人々に健康的な生活を～

【貢献策1】IFNA TICAD VI～
★ 2025年までに子ども2億人の栄養改善
(マルチセクターアプローチ)

消費

穀物(コメ) 園芸作物 畜産 水産

【貢献策2】CARD2 TICAD IV～
★ 2030年までにコメ生産倍増

加工・
流通

フードバリューチェーン構築 (域内流通促進を含む)
市場志向型農業振興アプローチ展開

【貢献策3】SHEP TICAD V～
★ 2030年まで100万人の小規模農家に稼
ぐための農業を

生産

栽培技術、普及、機械化 家畜衛生 内水面養殖
水産資源管理

灌漑・小規模インフラ整備、品種改良、農業保険

砂漠化対処による気候変動レジリエンス強化 (AI-CD)

【その他貢献策②】水産
★ 水産資源管理・内水面養殖

【その他貢献策③】レジリエンス強化
★ 灌漑施設整備、研究協力、経験共有

【その他貢献策①】戦略的人材育成
★ 留学生・研修員受入れ及びフォローアップ

【その他貢献策】
④本邦企業進出促進: 農業機械、収穫後処理施設、ICT、農業保険、船外機
など⑤農業開発プラットフォーム: 重点国にアドバイザー派遣

4. 2019年度アフリカFVC分科会活動計画案

1. 開催頻度： 年2回程度

第1回分科会： 2019年4月25日

(テーマ) キックオフ、JICA-FVC調査の概要紹介

(6月に開催予定のGFVC推進官民協議会アフリカ部会との共催を検討中)

第2回分科会(案)： 2019年9月

(テーマ) TICAD7実施報告、JICA-FVC調査の進捗共有

第3回分科会(案)： 2020年2月

(テーマ) JICA-FVC調査の最終報告

2. テーマ： 募集中

(例) JICA関連事業の紹介

民間企業のビジネス事例の紹介

特定国や特定作物に関するセミナー・勉強会開催 etc.

本分科会で意見交換、情報共有したいテーマ、要望等がございましたら、事務局までご連絡ください！

➤ 畔上：Azegami.Tomohiro@jica.go.jp